

# かつやまの“逸品”を 開発しました！




～かつやま逸品開発・販路開拓事業の成果報告～

平成27年度に開発・販路開拓された勝山の新たな逸品をご紹介します。ぜひご賞味ください。

☎ 農業政策課 (市役所1階) ☎ 88-8106

## 「かつやま逸品開発・販路開拓事業」 2次募集開始

対象 ▶ 市内産の農林水産物を扱う、もしくは取り扱おうとする市内の個人または団体  
補助金額 ▶ 一事業あたり上限50万円 (総事業費の20%以上の自己資金投入が必要)  
募集締切 ▶ 9月9日(金)

開発者	商品名	開発内容	取扱店	商品画像
魚清 ☎88-0135	米飴さらら 大清水の雫	勝山産の米を使用した米飴を開発し販売	ゆめおーれ勝山 レストハウス長尾山	
(特非) せいき コミュニティースポーツクラブ ☎87-1210	勝山まるやか ミルクカレー セット	勝山産ジャージー牛乳入りの勝山まるやかミルクカレーと勝山産の旬の野菜を使用した健康長寿料理を開発し販売	ゆったり勝山 各種イベント	
西ヶ原 にんにくの里 ☎88-3563	オリーブDE ガリ	西ヶ原にんにくを漬け込んだオリーブオイルを新たに開発し、新商品として販売する他、既存の商品とのセット販売も実施	ゆめおーれ勝山 各種イベント	

## 勝山市農地賃借料情報

平成27年1月～12月に締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10aあたり)は、下表のとおりです。農地の賃貸借契約を締結する場合の目安としてご活用ください。

- ◆このデータは、実際に取り引きされた賃借料のデータを整理したもので、拘束力はありません。地区によってはデータが偏っている場合があります。農地の賃貸借契約を締結する際は、目安としつつ、水稻の収穫量や圃場条件などを踏まえたうえで、最終的には当事者間の話し合いにより賃借料を決めてください
- ◆データ数は、賃貸借(有償)における賃貸借料データ(筆)のみを収集の対象としており、無償のデータは含まれていません
- ◆玄米での契約は、11,400円/俵として計算しています
- ◆金額は算出結果を四捨五入し100円単位としています

☎ 農業委員会 (市役所1階)  
☎ 88-8115

田(水稻)の部 (単位:円/10a)		
地区名	区分	平均額
平泉寺	基盤整備地域	10,600
	未整備地域	9,700
勝山猪野瀬	基盤整備地域	9,400
	未整備地域	5,400
村岡	基盤整備地域	10,000
	未整備地域	9,300
野向	基盤整備地域	7,900
	未整備地域	6,500
荒土	基盤整備地域	9,800
	未整備地域	8,800
北郷	基盤整備地域	10,200
	未整備地域	9,700
鹿谷	基盤整備地域	6,300
	未整備地域	5,200
遅羽	基盤整備地域	8,500
	未整備地域	8,900

※勝山市平均 8,900円/10a



## 福井しあわせ元気国体 福井しあわせ元気大会 2018

第73回国体体育大会/第18回全国障害者スポーツ大会

織りなそう力と技と美しさ

### 競技紹介 II その2 II

今回は、前回紹介した以外の4種目を紹介します。

#### 【綱引】(公開競技)

運動会などでもよく行なわれる、一本の綱を双方で引き合う競技です。長さ33m幅0.9mのレーンの上で8人の競技者が引き合います。勝敗は時間無制限で、4m引いた方が勝ちというわかりやすい競技です。綱引競技はシニア部門、ジュニア部門、男女混合部門に分かれます。競技者8人の合計体重によるクラス分けがあります。

運動会の綱引と大きく違うところは、立った姿勢からスタートするところ、スタート時の無理な体勢移動が無いので年齢に関係なくいつまでも競技を楽しめます。



イムで順位が決まります。他にも、着地精度を競うアキユラシー(ターゲット)競技や、滞空時間を競うデュレージョン競技などがあります。

#### 【ウォーキング】

(デモンストレーションスポーツ) ウォーキングは、身体に負担がかかりにくく、スポーツが苦手という方もすぐに楽しめるという利点があります。歩きながら景色を見ると、四季の微妙な移り変わりに気づくことができます。健康やダイエットに効果的です。



#### 【バスケットボール(知)】(正式競技)

知的障がいのある選手が出場する競技です。ルールは一般のバスケットボールと同じです。1チーム5人で男女別は、10分のピリオドを4回行います。

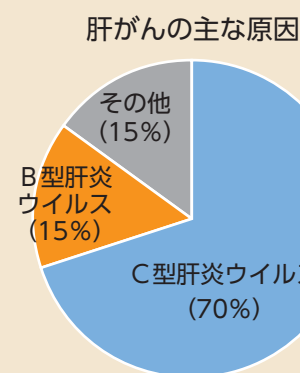


☎ 「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会実行委員会(国体・スポーツ課内) ☎ 88-8127

## C型肝炎の新しい治療

JCHO福井勝山総合病院  
副院長 須藤 弘之

## JCHO-Column



肝がんの全国の死亡数は3万人前後で、部位別がん死亡数では第5位に位置しています。肝がんは慢性肝疾患を背景に発症し、その多くはウイルスによるものです。C型肝炎ウイルスが約70%、B型肝炎ウイルスが約15%で、原因の8割以上がウイルスです。したがって、これらのウイルスにかかっている人々を見つけて出し、治療していくことが肝がんの発症の抑制(撲滅)に繋がります。

C型肝炎ウイルスは血液を介して感染しますので、過去に輸血を受けたり、非加熱血液凝固因子やフィブリノゲン製剤の投与を受けたりした人などは要注意です。C型肝炎ウイルスに感染しても、初期にはほとんど症状はなく、約8

割の人が慢性化し、慢性肝炎の状態になります。さらに平均20年で肝硬変に進展し、平均30年で肝がんが発症するとされています。C型肝炎に対する治療は1992年からインターフェロン治療が行われてきましたが、発熱、倦怠感、関節痛など副作用が多く、患者さんの負担の大きい治療でした。一昨年、C型肝炎の治療に内服薬のみの治療でウイルスを排除する「インターフェロンフリー治療」が登場しました。12週間または24週間の内服薬の服用のみの治療で、従来のインターフェロン治療に比べ副作用は少なく、ほとんどの方は外来で治療可能です。その効果は薬剤やウイルスのタイプにより異なりますが、80〜90%以上の方でウイルスを消失させることが可能となっております。

C型肝炎治療がより安全で確実にできるようになり、肝がんの主因のC型肝炎ウイルスが克服されつつあります。C型肝炎で未治療の方、以前の治療で効果不十分であった方などC型肝炎が気になる方はかかりつけ医または当院消化器内科にご相談ください。

☎ 健康長寿課 ☎ 87-0888